報道関係者各位

2026 年　1 月　21 日

静甲ソルフェジオ

【創部 46 年の名門が躍進】静甲ソフトボール部 地元「清水（432）」への愛を冠した

新チーム名『静甲ソルフェジオ』として始動

～周波数 432Hz に込めた、地域と共鳴（シンクロ）する実業団の新たな挑戦～

1980年の創部以来、46年間にわたり活動を続けてきた静甲株式会社（本社：静岡市清水区）ソフトボール部は、2026シーズンより、チーム初となるセカンドネームを導入し『静甲ソルフェジオ（SEIKO SOLFEGGIO)』として新たに始動します。
今回の名称変更は、単なるチーム名の一新ではなく、長年拠点を置いてきた「清水」への感謝と、地域・ファン・企業が一つに重なり合う「共鳴」の決意を込めた、地域密着型実業団への深化を象徴するものです。

■チーム名『SOLFEGGIO』に込めた思い

『ソルフェジオ（SOLFEGGIO）』は、心と身体の調和、共鳴を象徴する周波数 432Hz に由来しています。この「432」という数字には、静甲ソフトボール部が大切にしてきた価値と歩みを重ね合わせた、三つの意味が込められています。

◆【地域】　4（し）・3（み）・2（ず）＝「しみず」
静甲株式会社の本社所在地であり、本チームが長年活動の拠点としてきた清水の地を数字で表現しました。
地域の皆さまとともに歩んできた歴史と、地域に根ざし続ける決意を、この数字に刻みました。

◆【競技】　ソフトボールの守備構造「4-3-2」
内野4人、外野3人、バッテリー2人。それぞれが役割を果たし、信頼し合うことで、はじめてひとつの守備が完成します。
432という数字には、チームワークと連携を何よりも大切にする競技の本質を重ねています。

◆【調和】　「癒し」「調和」「共鳴」を象徴する周波数「432」Hz
選手一人ひとりの力（個性）が重なり合い、チームとしてひとつの音（ハーモニー）を奏でるチームワークを表しています。

これらすべてが "共鳴" する名前として、私たちは「静甲ソルフェジオ（SEIKO SOLFEGGIO）」として躍進してまいります。

■ユニフォーム・チームロゴ展開について

新シーズンより、ユニフォーム表記も新たに展開します。これまで受け継いできた「静甲ブルー」を基調とし、企業チームとしての信頼感と、スポーツチームとしての独自性を両立したデザインとしました。またチームロゴは、昨シーズンまで使用してきた「SEIKO」のロゴを継承しつつ、新たに「SOLFEGGIO」の名称を組み合わせることで、これまでの歴史を大切にしながら新たな一歩を踏み出す姿勢を表現しています。

新ロゴ

白ユニフォーム

『SEIKO』

黒ユニフォーム

『SOLFEGGIO』

■実業団としてさらに深化し「地域と共鳴するチーム」へ

『静甲ソルフェジオ』は、競技活動に加え、幼・小・中学生向けソフトボール教室や地域イベントへの参加など、ソフトボールを通じた地域貢献活動にも力を入れています。今回のセカンドネーム導入は、企業・チーム・地域・ファンをつなぐ存在としての役割をより明確にし「地域の誇り」として応援されるチームになるための第一歩と考えています。

■代表取締役　社長執行役員　鈴木孝典　コメント

当社は創業以来、地域とともに歩み、社会に必要とされる価値を届けることを大切にしてきました。ソフトボール部もまた、企業活動の一部として、競技力の向上と地域貢献の両立を体現する存在です。『静甲ソルフェジオ』という新たな名前には、清水という地域への想いと、人と人が共鳴しながら未来を創っていくという意思を込めています。

■監督　良知宏一　コメント

『静甲ソルフェジオ』という名前に込められた"共鳴"の意味の通り、選手同士はもちろん、地域の皆さま、支えてくださる方々と心を通わせながら成長していくチームでありたいと考えています。応援してよかったと思っていただけるチームを目指し、日々の一球一打に向き合ってまいります。

■チーム概要

チーム名：静甲ソルフェジオ（SEIKO SOLFEGGIO）　所属：静甲株式会社　創部：1980年　46年目

《本件に対するお問い合わせ先》
静甲ソルフェジオ　事務局担当：岩﨑　　携帯：080-3503-1022　E-mail：kenji.iwasaki@seiko-co.com